No. 220 440		_									
	事務	咨 派	原ごみ中間処理	1.亿答主举				所	属部	生活環境	部
No. 320-140	事業名	貝心	Rこの中间処理	[体目争耒				所	属課	環境衛生	:課
	2 自	然に	やさしいまちづ	くり				課	長 名	今村 政	憲
政策 施策名 0	3 循	環型:	社会の形成					所属	属G(係)	廃棄物対	策グループ
基本事業名(1 J	サイク	ル等の推進					電	話番号	45-5111	
		款		事業	事業名		法令 😞				
予算科目 -	-般 0	4	0 3 0 2	70010	芥処理関連	経費	根拠容	器包装りせ	イクル法	5	
 事務事業の概要(具	休的な	14517			数年度重業	I+수(事業期	問
国分、溝辺、霧島、隼								几理·保管業		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	iie)
務を民間業者(国分隼	人衛生:	公社)	に委託する。							— 1/ Z 0707	
牧園・横川地区は、	伊佐北始	恰良環	境管理組合に委	き託しているので	当該事業に含	含まれる	ない。			単年度繰返	
(中間処理・保管施設)	:天隆川	リリサィ	(クルセンター							,	H 9年度~)
平成20年度取扱量				スットボトル:233	t、その他プラ	スチッ	ック類:393 t、	有害ごみ:3	~	期間限定複数	数年度
t、廃食用油:43 t		t							□ >(年度	(~ 年度)
1 現状把握の部(C (1) 事務事業の目的		i									
手段(主な活動)	ノこ 打日 信示						活動指標	票(事務事業	の活動量	量を表す指標)	
20年度実績(20年	度に行	った主	Eな活動)					名和	尔		単位
事務事業概要と同じ							ア排出・回	収された資	源ごみ((紙類を除	t/年
							()の量				(/#
						1	1				
21年度計画(21年	度に計	画して	こいる主な活動	1)		7	'				
前年度と同様							ゥ				
11 <i>5</i> (+4 /¬+1	4 - 1 -		,	台 44 2年7年7年			77 27 12 12	T () 1 (2) = 1	- \		
対象(誰、何を対 国分、溝辺、霧島、隼					千粗 た 『全 /)		对家指榜	票 <mark>(対象の大</mark> 名種		「指標)	単位
四月、再起、杨田、平。	八、田田	12667	TOTHE ENC	100頁//ホロの(1	7.大台で 内小 /)	1	ア排出・回			か量	<u> </u>
						7		IXC 100 J	. ,,,, , .	·-	
							1				
						ŕ	イ ウ				
意図(この事業に				ひか)		·	ウ			の達成度を表	
意図(この事業に 効率的かつ適正に中間				ひか)		1	ウ成果指標	名和	弥		単位
				ひか)		→	ウ 成果指標ア 中間処理さ	名 れた資源ごみ	弥		単位 %
				D <i>ከ</i> ነ)		⇒	ウ 成果指標 ア中間処理さ イ 益金(市	名 れた資源ごみ	弥		単位
	間処理·イ	保管が	行われる。	(ימת)		⇒	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ	名和 た資源ごみ の歳入)	尔 量/回収され	れた資源ごみ量	単位 % 千円
効率的かつ適正に中間 結果(どんな結果 適切に分別を行う	間処理·イ	保管が	行われる。	のか)		⇒	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
効率的かつ適正に中間 おいまい おいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい	間処理·イ	保管が	行われる。	か)		↑ 1	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量	単位 % 千円
効率的かつ適正に中間 結果(どんな結果 適切に分別を行う	間処理·イ	保管が	行われる。	か)		1 1	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
効率的かつ適正に中間 結果(どんな結果 ・適切に分別を行う ・リサイクルされる	間処理・1	が付け	(行われる。 <mark>るのか</mark>)		20年度		ウ 成果指標 ア中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
効率的かつ適正に中間 結果(どんな結果・適切に分別を行う・リサイクルされる (2) 総事業費・指標等の推	間処理・付 とに結び 等 単 等	が付け	行われる。	Dか) 19年度 (実績)	20年度 (実績)	→→→	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
効率的かつ適正に中原 結果(どんな結果・適切に分別を行う・リサイクルされる (2) 総事業費・指標等の推済 財 国庫支出	間処理・ とに結び 等 単 金 1	が付け単位	が行われる。 るのか) 18年度	19年度		→→	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
効率的かつ適正に中原 結果(どんな結果・適切に分別を行う・リサイクルされる (2) 総事業費・指標等の推済 財 国庫支出	間処理・ とに結び 等 単 金 〒 田金 〒	が付け単位・千円・千円・千円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円	が行われる。 るのか) 18年度	19年度		→→→	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
効率的かつ適正に中原 結果(どんな結果・適切に分別を行う・リサイクルされる (2) 総事業費・指標等の推済 財 国庫支出	間処理・付 に結び 第 第 第 第 第 第 1 3 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1	保管がが付けを使用している。	が行われる。 るのか) 18年度	19年度		→→	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原	間処理・付ける。 等を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	保管か バ付け 位 円円円 千斤円円 千斤円円	が行われる。 るのか) 18年度	19年度		¬	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原	間処理・付ける。 等を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	保管か が付け 位 FP円 FF円 FF円	でいる。 るのか) 18年度 (実績)	19年度 (実績)	(実績)		ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金 (市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原	間処理・付ける。 等を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	保管か バ付け 位 円円円 千斤円円 千斤円円	でいる。 るのか) 18年度 (実績) 69,590	19年度 (実績) 67,716	(実績) 67,71		ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原	間処理・付ける。 等を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	保管か バ付け 位 円円円 千斤円円 千斤円円	でいる。 るのか) 18年度 (実績) 69,590	19年度 (実績) 67,716	(実績) 67,71		ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原 結果(どんな結果 ・適切に分別を行う ・リサイクルされる (2) 総事業費・指標等の推対 財源 国庫 支出 都道府県東支出 をの他 一般財法 事業費計(間処理・付 に結び 単二 は出金 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	保管が が付け 位 FF円 FF円 FF円 FF円 FF円	でいた。 るのか) 18年度 (実績) 69,590 69,590	19年度 (実績) 67,716 67,716	(実績) 67,71 67,71	16	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原	等 等 等 第 は は は は は は は は は は は は は	保管か バ付け 位 円円円 千斤円円 千斤円円	でいる。 るのか) 18年度 (実績) 69,590	19年度 (実績) 67,716	(実績) 67,71	16	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原 結果(どんな結果 ・適切に分別を行う ・リサイクルされる (2) 総事業費・指標等の推対 財源 国庫 支出 都道府県東支出 をの他 一般財法 事業費計(等 等 等 第 は は は は は は は は は は は は は	保管が が付け 位 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 の	るのか) 18年度 (実績) 69,590 69,590	19年度 (実績) 67,716 67,716	(実績) 67,71 67,71	16	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
が率的かつ適正に中原	野 (保管が が付け 位 FFF FFF FFF FFF FFF FFF FFF FFF FFF	で行われる。 るのか) 18年度 (実績) 69,590 69,590 1,996	19年度 (実績) 67,716 67,716 1,997	(実績) 67,71 67,71 1,89	16	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原	等 (に結び) 等 (に結び) (に結び) (には) (保管が が付け 位 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 の	るのか) 18年度 (実績) 69,590 69,590	19年度 (実績) 67,716 67,716	(実績) 67,71 67,71	16	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
が率的かつ適正に中原	等 (に結び) 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日	保管が が付け 位 FFF FFF FFF FFF FFF FFF FFF FFF FFF	で行われる。 るのか) 18年度 (実績) 69,590 69,590 1,996	19年度 (実績) 67,716 67,716 1,997	(実績) 67,71 67,71 1,89	16	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 <mark>Eを表す指標)</mark>	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原	間処理・ (保管が が付け 位 FFF FFF FFF FFF FFF FFF FFF FFF FFF	で行われる。 るのか) 18年度 (実績) 69,590 69,590 1,996	19年度 (実績) 67,716 67,716 1,997	(実績) 67,71 67,71 1,89	16	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込)	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 Eを表す指標)	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中原	等 (に結び) 等 (に結び) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	保 が 付 位 の の の の の の の の の の の の の	で行われる。 るのか) 18年度 (実績) 69,590 69,590 1,996	19年度 (実績) 67,716 67,716 1,997	(実績) 67,71 67,71 1,89	16 16 191	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込) 68,400 68,400 1,885	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 Eを表す指標)	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中間を 結果(どんな結果 ・適切に分別を行う ・リサイクルされる (2) 総事業費・指標語の推注 財源内とのでは、 事業費・担応の他的 ・一般財活事業費計(トータルコスト(A)・・ 活動指標	1	保 が付 位 の の の の の の の の の の の の の	るのか) 18年度 (実績) 69,590 69,590 1,996 1,996 100 34,055	19年度 (実績) 67,716 67,716 1,997 1,997	(実績) 67,71 67,71 1,89 1,89	16 16 17 17 17 17 17 17	ウ 成果指標 ア 中間処理さ イ 益金(市 ウ 上位成果 ア 資源ごみの分 イ ウ 21年度 (見込) 68,400 68,400 1,885 1,885	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 Eを表す指標)	単位 % 千円 単位
対率的かつ適正に中間を 結果(どんな結果 ・適切に分別を行う ・リサイクルされる (2) 総事業費・指標語の推注 財源内とのでは、 事業費・担応の他的 ・一般財活事業費計(トータルコスト(A)・・ 活動指標	1	保管が が付け 位 PPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPPP	で行われる。 るのか) 18年度 (実績) 69,590 69,590 1,996 1,996	19年度 (実績) 67,716 67,716 1,997	(実績) 67,71 67,71 1,89 1,89	16 16 17 17 17 17 17 17	ウ 成果指標 ア 中間処理され 益金(市ウ) 上位成果 ア 資源ごみの分け つり 21年度(見込) 68,400 68,400 1,885 1,885 100	名れ れた資源ごみ の歳入) <mark>指標(結果</mark> 名れ	尔 量/回収され <mark>の達成度</mark> 尔	れた資源ごみ量 Eを表す指標)	単位 % 千円 単位

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成7年6月に公布された「容器包装リサイクル法」により、資源ごみの分別・リサイクル等開始され、天降川リサイクルセンターに委託することとなった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 容器包装リサイクル法が平成18年6月に改正された。合併により、溝辺地区の資源ごみが新たに搬入・処理されるようになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に無し

	事務事業名	資源ごみ中間	処理·保管事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE) * 政策体系との整		望価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	₽
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	りは市(町)の政 へ?意図すること		•			が活用並びに循環型社会の形成に
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲)之	▼ 妥当である 【理	申」之	
評	らないのか?税金を する目的か?		 一般廃棄物の適正処理、再貨 円滑に行われるという点からも)、資源ごる	みのリサイクルや資源の有効活用が
価	対象・意図の妥	妥当性	■見直し余地がある【理	曲	☑ 適切である 【理	由)之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		資源ごみの適正処理ということ	で、対象・	意図ともに妥当である。		
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理日	∄	☑ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	資源ごみの中間処理·保管業している。	務が適正だ	いつ効率的に実施されて	່ ສາງ、リサイ	イクル及び資源の有効活用に寄与
有	廃止・休止の成	は果への影響	□影響無【理由】		▶ 影響有 【その内	容] 🞝	
?効性評価	事務事業を廃止・休響の有無とその内容	it?	容器リサイクル法に基づく資源	ごみの適〕	E処理·リサイクル等を推	進する上	で支障がある。
	類似事業との終 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はないとの統廃合ができるの連携を図ることに。	いか?類似事業 か?類似事業と	□ 統廃合できる 🕤 □ 類似事業もない。	連携でき	3 🕤 🗌 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🔽
	が期待できるか?	5、从来0月工	▶ 他に手段がない【理由) 2			
	事業費の削減	余地	□ 削減余地がある 【理日		☑ 削減余地がない	【理由】	₽
効率	の協力など)		委託事業につき、削減余地が	ない。			
性	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	■ 削減余地がある 【理日	1) 🕏	☑ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延ん	とを下げずにより や委託でできな	委託事業につき、削減余地が	ない。			
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある 【理	甲プ	☑ 公平・公正である	5 【理由】	₽
公平世	一	- = + + + - /-					
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	対象が資源ごみにつき、公平	·公正であ ^ι)、受益者負担の事務事	業には該	当しない。
	評価結果の総括と 1次評価者として(:(次年度計画と予算への反 (2) 全		N) 担当記 振り返り、反省点)	果長記入	制)
(')	目的妥当性	☑ 適切				いつ効率的	
	有効性	☑ 適切	□ 見直し余地あり □ クルス	び資源の	有効活用等に寄与してい	る。事業	費は、すべて委託料であるが、シル は・設備等の見積内容、金額等の精
	効率性 公平性	✓ 適切✓ 適切			続き、適正化を図ってい		の政権の元項的合、並はその権
(3)) 今後の事業の方向	句性(改革改善	案)・・・複数選択可		15/44+		改革・改善による期待成果
<		事業(Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		※止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加向上
							成維果持低下
(5)	, 改革、改善を実現	!する上で解決 ⁻	すべき課題(壁)とその解決	朿			
1							

21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様

対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

国分、溝辺、霧島、隼人、福山地区の一般家庭等から回収される資源ごみ分別基準適合物(紙類を除く)。

意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

効率的かつ適正に中間処理・保管が行われる。

結果(どんな結果に結び付けるのか)

適切に分別を行う

(0) 似声光串 化插丛

・リサイクルされる

			活動指標	票(事務事業σ)活	動量を表す指標)	
				名称			単位
		ア	再商品化	どされた分別	基達	準適合物	t/年
	\	1					
		ウ					
			対象指標	票(対象の大き	さを	表す指標)	
				名称			単位
	>	ア	回収され	た分別基準	合物の量	t / 年	
	,	1					
		ウ					
			成果指標	票(対象におけ	る意	意図の達成度を表	・ す指標)
				名称			単位
	<u> </u>	ア		化量 / 分別基	準	適合物の量	%
	,	1	益金(市	の歳入)			千円
		ウ					
			上位成果		達原	成度を表す指標)	
				名称			単位
	4	ア	資源ごみの分別	引や資源物回収への	協力	を行っている市民の割合	%
_	7	1					
		ウ					
			年度				
		()	見込)				

(2)	総	事	業費·指標等 の推移	3	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
		財	国庫支出:	金	千円						
ŧл	車	阳	都道府県支出		千円						
投入量	事業	小小	地方債		千円						
	未典	草口	その他		千円						
里	貝		NX 2/1 ///	F	千円	2,450	1,756	1,772	2,160		
		Į.	事業費計 (A	١)	千円	2,450	1,756	1,772	2,160		
	١.	<u>ータ</u>	′ルコスト(A) +		千円	2,450	1,756	1,772	2,160		
				ア	t / 年	1,436	1,444	1,343	1,400		
		活	動指標	1							
				ウ							
			£ 11-1-	ア	t/年	1,436	1,444	1,343	1,400		
		対	象指標	1							
				ウ							
				ア	%	100	100	100	100		
		成	果指標	1	千円	1,346	9,064	7,800	7,800		
				ウ							
1		,,	P = 15 1=	ア	%	89	91	93	90		
	上	(位)	成果指標	1							
_			丰 业 5 7 7 1 2 1 2 1	ウ		÷ = **					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成7年6月に公布された「容器包装リサイクル法」により、資源ごみの分別とリサイクル等がスタートしたが、分別基準適合物を適正かつ安定的に再資源(商 品)化するため、容り協に委託する。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 容器包装リサイクル法が平成18年6月に改正された。合併により溝辺地区の分別基準適合物(紙類を除く)も容り協ルートで再商品化されるようになった。

<u>この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?</u> 特に無し

	事務事業名	資源ごみ分別	基準適合物再商品化	事業 所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE) ⁷ 政策体系との数		価、ただし複数年度事 ■ 見直し余地がある		▼ 結びついている	【理由】	₽
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついる	、? 意図すること	分別基準適合物(資源この形成に寄与している。	ごみ)を適切に再	商品化が行われてリサイ	クル及び	資源の有効活用並びに循環型社会
的妥	公共関与の妥		■見直し余地がある	3 【理由】 🤝	☑ 妥当である 【理	曲)之	
性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	が行わなければな ・投入して、達成	一般廃棄物の適正処理 円滑に行われるという点)、資源ごる	みのリサイクルや資源の有効活用が
価	対象・意図の変	妥当性	■見直し余地がある	3 【理由】 🔊	☑ 適切である 【理	曲	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		分別基準適合物(資源ご	ごみ)の適正処理	⊒ということで、対象・意図	ともに妥当	である。
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある	【理由】 🐬	▼ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 気因で成果向上	分別基準適合物(資源で 効活用に寄与している。	ごみ)の再商品化	、業務が適正かつ安定的	に実施され	いており、リサイクル及び資源の有
有	廃止・休止の原	は果への影響	□影響無【理由】	₽	▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		容器リサイクル法に基づ	〈資源ごみの適	正処理・リサイクル等を推	進する上	で支障がある。
価	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある	(具体的な手段	,事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はない		□ 統廃合できる 🕤	∠ □ 連携でき	る 🕤 🗌 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🕤
	との統廃合ができるの連携を図ることに、が期待できるか?	か?類似事業と	類似事業もない。				
	事業費の削減	全地	✓ 他に手段がない✓ 削減余地がある		☑ 削減余地がない	(理由)	5
効	成果を下げずに事業	業費を削減できな		る随意契約で勢	季託をおこなっており、単	価について	♥ (は、委託先である(財)日本容器
率性部	人件費(延べ第 減余地	美務時間)の削	□ 削減余地がある	【理由】 🤝	☑ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延	具を下げずにより や委託でできな	委託事業につき削減余り	地がない。			
公 平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある	る 【理由】 🗣	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではた 負担が公平・公正に	いか?受益者	対象が分別基準適合物	(資源ごみ)につ	き、公平・公正であり、受	益者負担	の事務事業には該当しない。
			(次年度計画と予算へ			果長記入	X = 0
(1)	1次評価者としての 目的妥当性		□ 見直し余地あり 🔟	(4) 王怦総括(振り返り、反省点)		
	有効性	☑ 適切	🔲 見直し余地あり 🔫				正かつ安定的に行われており、資
	効率性 公平性	☑ 適切☑ 適切	□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり	ぶこののリリイン	ル及び資源の有効活用	寺に司刁	୯୯୮୭,
٠,	今後の事業の方[句性(改革改善	案)・・・複数選択可	<u> </u>	J1574-1-1		改革・改善による期待成果
		事業の	0やり方改善(有効性改善) 0やり方改善(効率性改善) 0やり方改善(公平性改善)	(従来	状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加点上
							成維果持低下
(5)	改革、改善を実現	する上で解決す	すべき課題(壁)とその	解決策			
1							

N	0.	320-160 事		務資	原ごみ分別収集	推進補助金				所属部	生活環境	
		-	業:		- サナー ハキナベ	7.11				所属課	環境衛生	
政	策	政策名 0 施策名 0			こやさしいまちづ 型社会の形成	(1)				課 長 名 所属G(係)	今村 政	恵 '策グループ
体	系	基本事業名 0			カル等の推進					電話番号	凭条初划 45-5111	東グループ
			<u>-</u> 計	款		事業	事業名		14.4	电阳田与	1 0-0111	
	_	算科目	般	0 4	0 3 0 2	70010 塵	芥処理関連		依拠	補助金等の種類	領及び補助	率に関する要綱
)方、手順、詳細						事業期	間
					源化を推進し、も: の資源ごみの分別				とを目的とする。 八資源ごみの適正排	非出 ⋰ □ 単	年度のみ	
み	置場	の衛生保持を促	すも	のです。							年度繰返	
補	助金	金の算定方法は、	自治	台会均等	等割額 500円、世 キルズ ウンクス	帯割額 250円、 集団的に答照-	集団回収加算	算額(1	世帯当)200円。 目回収している効率的			H 20 年度~)
		可収では、国カ以 の方法。	.V7V.	ᄱᅜ	のいて、日心云で	未凹凹に貝がこ	- のを月一凹、	土吅	日四以している効率に	□」なカ □ 期	間限定複数	
L										□ (年度	~ 年度)
		伏把握の部(D 務事業の目的		+亜								
(1)		防事業の百 覧 设(主な活動)	C1H	11示					活動指標(事)	8事業の活動量で	を表す指標)	
2		度実績(20年月	度に	行った	主な活動)				712011111111111111111111111111111111111	名称		単位
		自治会数:861							ア 補助金交付団	7休数		団体
'×	:11) Z	镇:16,205,050円							, IIII)	TIT'XX		E IT
-	и / -	度計画/24年	≐ 1−		ブリスナか江野	1)			イ 自治会管理ご	゚゚みステーション	'箇所数	箇所
			支に	司回し	ている主な活動	1)		,				
133									ウ			
	対	象(誰、何を対象	象に	してい	るのか) *人や	自然資源等			対象指標(対象	泉の大きさを表す打	旨標)	
ごる	サス	テーションを利用 対象団体 > 自治	して	いる世詩	₹			_		名称	カンハムギ	単位
					【やごみステーショ	ンの管理		\Rightarrow	ア ごみステーション イ ごみステーショ	ンを官埋している	は日治会数	団体 世帯
									ウ	フを利用して	でに市奴	ĽП
					象をどう変えるの					象における意図の	達成度を表	す指標)
					の再資源化、減量 の自治会管理ごみ		Æ.	_	フラウス次海ゴ			単位
٥	ア旦	物・自加が叩りひた	シス	加八日	の日/日云日珪(6	7. 直场以利用证	E	\Rightarrow	ア 家庭系資源ごイ ごみステーションを	. みの凹収重 利用している自治会	未加入世帯	t/年 世帯
									ウ			_ Ip
, ,		果(どんな結果	に糸	古び付け	けるのか)				上位成果指標	(結果の達成度を	を表す指標)	W /A
		こ分別を行う。 クルされる。							アごみの減量化に	_ 名称 ˙取⑴組んでいるā	お民の割合	単位 %
	,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						\Rightarrow	イ	-4X 7 ME 70 C V 1 S 1	I KONII	70
									ウ			
(2)	総	事業費·指標等 の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)		21年度 (見込)			
		国庫支出:		千円	(天順)	(天限)	(天限)	+	(光区)			
		9/1		千円								
入	事業費	が 地方債 内 その他		千円								
量	費	訳 一般財源	1	千円			16,20	6	17,050			
	Ш	事業費計 (月	_	千円			16,20		17,050			
								_				
	١-	-タルコスト(A) +	(B)	千円	0	0	16,20		17,050			
		 	ア	団体			86		861			
	7	舌動指標	イウ	箇所			1,67	5	1,675			
			ア	団体			86	1	861			
	Ž	付象指標	1	世帯			42,17	1	42,171			
			ウァ	t/年			3,52	1	3,521			
	F	成果指標	アイ	世帯			3,52	_	3,521			
			ゥ				3,10		-,			
		7 th th th: TH	ア	%			9	3	90			
	上1	立成果指標	イウ					-				
(3)	事	務事業の環境	変化	ン・住民	意見等				l			
<u>'</u>		の事務事業を開				いっぱ じょかん	マルキーズ88 おひ・	++0+	A 4 3			

平成19年度で、旧国分市、旧溝辺町、旧霧島町、旧隼人町から引継がれている分別収集補助金制度を廃止し、平成19年度中に、地域振興関連補助制度と の整合性を考慮しながら、平成20年度以降の補助制度について検討した補助制度。 資源ごみ分別収集推進補助金として、今年度、本市の約870自治会に、自治会均等割:500円、世帯割:250円、集団回収加算(1世帯当):200円として算定

した補助金額を交付する。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

「環境衛生業務担当者」において、当補助金のH20年度以降の取扱いについて、協議検討した。資源ごみの分別・再資源化・減量化を推進する目的で、新たに「資源ごみ分別収集推進補助金、制度を創設することになり、交付対象は自治会とし、補助金の算定方法は、公平性・平等性を考慮して、均等割500円、世 帯割250円、集団回収加算(1世帯当り)200円で、平成20年度から実施することとなった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

	事務事業名	資源ごみ分別	収集推進補助金	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE) ⁷ 政策体系との数		『価、ただし複数年度事業Ⅰ ■ ■ 見直し余地がある【理		▼ 結びついている	(理由)	<u></u>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて]は市(町)の政 ・? 意図すること		, 「再資源化で	を推進し、もって循環型を		に寄与することを目的とする補助制
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲)与	▼ 妥当である 【理	申】之	
当性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?		資源ごみの分別促進によるごいう形での公共関与は妥当で		公, ごみステーションの管	理の適正値	との観点から、自治会へ補助制度と
価	対象・意図の姿	妥当性	■見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【理	即之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		ごみステーションは、公設では		会等による設置・管理を	基本として	いるため、概ね妥当である。
	成果の向上余 成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	地はあるか?成 べき水準との差 ほ因で成果向上	資源化の促進を目的とした補そこで、さらなる分別・ごみ出したに制度化した補助金。	こなっていた 助制度だっ しルールの行	た。しかし、自治会等に 敵底により自治会ごみ置	霧島地区 おける分別 場の適正管	・ にて実施分)については、ごみの再
有	廃止・休止の原	以果への影響	□影響無【理由】 🕤		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評価	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容	止した場合の影 :は?	自治会が、ごみ置き場を管理 廃止になると自治会への影響		費として環境衛生課だけ	⁻ が実施し ⁻	ている補助金であるためこの制度が
_	類似事業との紹の可能性	統廃合·連携	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない	いか?類似事業と	□ 統廃合できる 🕤 📗	連携でき	る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	■連携できない 🕤
	の統廃合ができるか 連携を図ることにより 期待できるか?		自治会が管理するごみ置き場		と·適正管理を促す補助的	制度はこの	制度のみであるため。
	事業費の削減	余地	✓ 他に手段がない【理由一削減余地がある【理由		▼ 削減余地がない	【理由】	
効率	成果を下げずに事う いか?(仕様や工法 の協力など)	美費を削減できな	平成20年度から開始した事業	・ 美であるため	当面は、現行のまま事業	美を実施し	、 成果の確認を判断する必要がある。
性	人件費(延べ業	美務時間)の削	□ 削減余地がある【理日	#1 3 >	☑ 削減余地がない	【理由】	₽
価	<mark>減余地</mark> やり方を工夫して延り 減できないか?成果 正職員以外の職員も いか?(アウトソーシ	を下げずにより >委託でできな	職員の事務は、補助金の交付	けに係る事務	8と実績の集計等であるの	ので、人件	費削減等の余地はほとんど無い。
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	□見直し余地がある【理	曲)之	☑ 公平・公正である	[理由]	₽
公平性		0至分本に位 -					
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	平成20年度から霧島市全域	で同一の補	助算定で事業を開始した	ニ事業であ	るため、公平・公正であるといえる。
3 (1)	評価結果の総括の		E(次年度計画と予算への反 (2)		N) 【担当 振り返り、反省点)	課長記入	
Ĭ <i>′</i>	目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり				
	有効性 効率性	✓ 適切✓ 適切			発圧して平成20年度から 正に行うための補助金と		補助制度であり、自治会がごみ置き 効な制度だと思われる。
	公平性	☑ 適切	見直し余地あり			174	75++ 75+5 1 2 +0/+ -2
< <u>i</u>	□ 廃止□ 付止□ 目的再設定□ 事業統廃合·連接□ 本□ 本□ 本□ 本○ 本<td>□ 事業の □ 事業の 書業の 事業の</td><td>案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)</td><td>(従来</td><td>状維持 通りで特に改革改善をし</td><td>()</td><td>改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果持 低 下</td>	□ 事業の □ 事業の 書業の 事業の	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)	(従来	状維持 通りで特に改革改善をし	()	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果持 低 下
(5)	改革、改善を実現	する上で解決	すべき課題(壁)とその解決	·策			

No 320-170 事業日 新規 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			1 /2X	, 20	T1X	77777	木口川ノ	- 1					
東京	No	320-170	事	務出	光灯 乾熏油加	田事業							
 放棄 後	INO.	320-170	事業	と 名 当	儿人 和电池处	生尹未					所属	禹 課 環境衛生	課
極速性 1	_,	政策名	0 2	自然に	やさしいまちづ	くり					課	長名 今村政	憲
本事業名 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1			0 3	循環型	型社会の形成						所属の	(係) 廃棄物対	t策グループ
安計 10 10 10 10 10 10 10 1	体系	<u> </u>											
予算科目 一版 0 4 0 3 9 70010 世紀 10010 世紀 70010		エーチベロ				事業	事業名			`* ^	1-2 #11	<u> </u>	
□分、満近、看品、	-	予算科目						経費	ĺ	法令 根拠	になし		
□分、満近、看品、	事務	事業の概要	具体	的なやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体侈	(を記述)		事業期	間
水間・横川地区は、伊佐北急は環境理報会に参託しているので当該事業に含まれない。	国分	、溝辺、霧島、隼	事人、	福山地区	の一般家庭等から						み」という)の	•	
選供業務委託 日本海軍機構提供支店 場が別分素物委託 朝かば、1979 年度 日 13 年度	運搬	・中間処理を民	間業者	まに委託す	する。 ====================================	.	VI/ *** 						
競技形成分業務委託 朝沙ェイ・リライツ で表現地の分類教養証 野村興産 19 3 年度 年度 年度 年度 年度 年度 年度 年度						託しているので	当該事業に含	まれる	ない。			☑ 単年度繰返	
現状形 (H 13 年度~)
(1) 事務事業の目的と指標 手段・主な活動) 20年度実績 20年度に行った主な活動) 20年度実績 20年度に行った主な活動) 第年度と同じ 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 第年度と同様 単位 7 有害ごみの運搬・処理量 1/年 7 対象 指標・対象の大きさを表す指標) 2 対象指標・(対象の大きさを表す指標) 2 対象指標・(対象の大きさを表す指標) 2 対象指標・(対象の大きさを表す指標) 2 対象指標・(対象の大きさを表す指標) 2 対象指標・(対象の大きさを表す指標) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2												┗(年度	~ 年度)
子供しまな活動													
20年度実績 20年度に行った主な活動)				旨標						ンプエレント			
### 21年度計画している主な活動) お中度と同様				- / +	ナルンエチャン					沽 動指標		活動量を表す指標)	<u> </u>
21年度計画(21年度に計画している主な活動)				し行つに	土な沽動)						- 名称		- 単位
対象 (議・何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 回収された有害ごみ 単位	1 177	サ未似女(円)の	'						ア	有害ごみ	・の運搬・処理	里量	t / 年
対象 (議・何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 回収された有害ごみ 単位													
対象 (議・何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 回収された有害ごみ 単位	0.4	左鹿制憲/24	左击。		プロスナルバイエ	1)			1				
対象指標 対象をしているのか * 人や自然資源等 回収された有害ごみ 単位 ア 回収された有害ごみ 単位 ア 回収された有害ごみの量 1 / 年			午度I	に計画し	(いる土な活動	1)		7	\vdash				
回収された有素ごみ 単位	BU +	反と凹が							ウ				
回収された有素ごみ 単位	÷	+免/钟/司女	計台」	ーレブロ	マのか) ナーか	白砂洛海笙				÷+ 各 +匕 +i	亜/社会のよさ	·	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 効率的かつ適正に連嫌・処理が行われる。 *** ** ** ** ** ** ** ** **				C (())	るのか) * 入や	日然貝까守				对象相信		さを衣り拍標)	当位
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 放果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位	ш 1A	C10/C 6 E C0/						\rightarrow	ァ	回収され		の量	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 効率的かつ適正に連接・処理が行われる。 本語								7	-	H IXCII	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	···	
対象的かつ適正に連搬・処理が行われる。 A													
						のか)				成果指標		る意図の達成度を表	
	効率	的かつ適正に過	重搬·久	0理が行ね	われる。			, i	_				
結果 (どんな結果に結び付けるのか) - 適切に分別を行う - リサイクルされる (2) 総事業費・指標等								\Rightarrow	-	処埋された	:有害こみ量/៤	回収された有害こみ量	%
 結果(どんな結果に結び付けるのか) 適切に分別を行う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								,					
・適切に分別を行う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	幺	き里 (どん)か結	里に	丝=7 ぶんけい	せるのか)					上位成里	指標(姓甲の	達成度を実す指標)	
・適切に分別を行う ・・リサイクルされる 18年度	, n	ログ(こんなが	1.A.IC	WHOLIL	7 8 0 7 73				_	ᅩᄺᄻ		(上)以及で収り日本)	単位
(2) 総事業費・指標等 単位 18年度 (実績) (実績) (見込) (別推移 単位 (実績) (実績) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込								_	ア	資源ごみの分別		協力を行っている市民の割合	
(2) 総事業費・指標等 の推移	・リサ	イクルされる						4	1				
の推移 早山 (実績) (実績) (実績) (見込) 国車支出金 千円 「地方債 千円 「大円													
が推移 (美額) (美額) (美額) (美額) (美額) (長額) (見込)	(2) 糸			単位									
投	—	日度士			(美績)	(美績)	(美績)	_	(5	記込)			
大学 地方債 千円 子の他 千円 子の他 千円 子の他 千円 子の他 千円 子の他 千円 子の 子の他 千円 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子	1.1.	別都常应目											
子の他	投身	目源 しょう											
事業費計 (A) 千円 5,437 5,172 4,334 5,245		園 その											
トータルコスト(A) + (B) 千円 5,437 5,172 4,334 5,245 活動指標 7 1 7 年 45 43 42 42	重	月又只	才源	千円									
活動指標	1 L	事業費計	(A)	千円	5,437	5,172	4,33	34		5,245			
活動指標													
活動指標													
活動指標	ΙH) + (P)	1 千田	5 /27	5 170	1 20	24		5 245			
活動指標 イ ウ ウ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	Н-	- ラルコスド(A	/ \ /					_		,			
ウ 1/年 45 43 42 42 対象指標 イ ク 100 100 100 成果指標 イ ク 100 100 100 上位成果指標 ア % 89 91 93 90 上位成果指標 イ ク 93 90	1	活動指標			40	+0	•	'-		74			
対象指標	1	WLDINEH.										1	
対象指標 イ ウ			ブ	7 t / 年	45	43	4	12		42			
成果指標 ア % 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1	1	対象指標	1	,									
成果指標 イ ウ 93 90 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			Ċ	7									
ウ フ 93 90 上位成果指標 イ ウ	1	ct 田 tc t=			100	100	10)0		100			
上位成果指標 ア % 89 91 93 90	1	风 未拍標	1	,				-					
上位成果指標 イ ウ ウ	-				80	Q1	(33		٩n			
j j		_位成果指標			03	31				30			
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等		_ ,,											
	(3)	事務事業の環	•	1101	意見等								•

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成13年4月から蛍光灯・乾電池等の有害ごみの分別収集及びリサイクルを開始したため、適正な運搬と処理を専門業者に委託。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成13年4月から始めた本市の有害ごみの分別・リサイクルは、概ね定着している。最近になって、九州の約9割程の自治体が有害ゴミのリサイクルに取り組んでいる。平成19年9月から家庭系一般廃棄物のみを対象とした。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に無し

	事務事業名	蛍光灯·乾電池	也処理事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE)					- (TM-1-)	
	政策体系との整		▶ 見直し余地がある │	理田)つ	☑ 結びついてい	る【埋田】	→
目		い?意図すること	有害ごみ(資源ごみ)を適切に寄与している。	に運搬、処理	浬が行われてリサイクル	及び資源の	有効活用並びに循環型社会の形成
的妥	公共関与の安		■見直し余地がある	理由】 🎝	☑ 妥当である 【	理由】 🥕	
性評	なぜこの事業を市からないのか? 税金を する目的か?	『行わなければな :投入して、達成	一般廃棄物の適正処理、再 有効活用が円滑に行われる			あり、有害ごみ	・(資源ごみ)のリサイクルや資源の
価	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある	理由】 🔊	☑ 適切である 【	理由】 🕏	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		有害ごみ(資源ごみ)の適正	処理というこ	ことで、対象・意図ともに	妥当である。	
	成果の向上余	:地	□向上余地がある【理	曲)	▼ 向上余地がな	い【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	がき水準との差 原因で成果向上	分別基準適合物(資源ごみ 活用に寄与している。)の再商品化	ど業務が適正かつ安定	的に実施され	れており、リサイクル及び資源の有効
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】 5		▼ 影響有 【その)内容】 🕤	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		一般廃棄物の処理は自治が 理・リサイクル等を推進する。			当事業をおこ	ない有害ごみ(資源ごみ)の適正処
価	想以事業との	統廃合·連携	□ 他に手段がある(具	体的な手段	,事務事業)		
	の可能性 目的を達成するには	よ、この事務事業	以	_ _ 連携でき	る 気	できない 🥱	▶ □連携できない 与
	以外他に方法はないの統廃合ができるか 連携を図ることにより	、?類似事業との					
	期待できるか?	: ^ 11L	✓ 他に手段がない【理			/TIII 1	
	事業費の削減		■ 削減余地がある 【理	E⊞1 →	▼ 削減余地がな	い「埋田」	→
効率	の協力など)		事業費は全て専門的に取り	扱っている目	尺間企業に委託でお これ	なってるためi	削減余地はない。
性		業務時間)の削	□ 削減余地がある【理	即)之	▼ 削減余地がな	い【理由】	₽
価	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	委託事業につき、削減余地	がない。			
公平	受益機会·費戶 化余地	月負担の適正	■ 見直し余地がある	理由] 🥏	☑ 公平・公正で	ある【理由】	₽
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	対象が有害ごみ(資源ごみ)	につき、公室	平・公正であり、受益者	負担の事務	事業には該当しない。
			(次年度計画と予算への			当課長記 <i>入</i>	(欄)
(1)) 1次評価者として 目的妥当性		(2) 「 見直し余地あり <u></u>	王 体総括((振り返り、反省点)		
	有効性		□ 見直し余地あり → 有詞		,		効率的に行われており、資源ごみ
	効率性 公平性	✓ 適切✓ 適切	□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり	サイクル及し	が資源の有効活用等に	奇与している	0.
(3)	今後の事業の方	向性(改革改善	案)・・・複数選択可) 改革・改善による期待成果
<	原止	事業の	のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)		は状維持 E通りで特に改革改善を		発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 点 点 、 、 、 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
(5)	改革、改善を実現	₹する <u>上で解決</u>	すべき課題(壁)とその解	 決策			

_													
N	o.	320-180	事	務ごる	みステーション討	设置费等辅助	事 業				所 属		
	Ŭ.		事業	台							所 属		
邗	策	政策名			やさしいまちづ	「くり					課長		
	系	施策名	_		世社会の形成	10.545					所属G		策グループ
		基本事業名			の適正処理の		市业力				電話	番号 45-5111	
	寻	·算科目	会計	款 0 4		事業 70015 ごる	事業名 み減量化関	直経電	事	法令特征	無し		
	_									11376	-/ 0		
)方、手順、詳細							事業期	間
		適正処理・減 !施に必要な糺			ため、環境保全協	会が自治会等を	E対象に行うこ	゙゚゚゚ゕスヺ	F-3	ション設置費	賢等補助事	□ 単年度のみ	
未	0)天	他に必安は常	生貝で刊	田印しるの	0							☑ 単年度繰返	
													H 11 年度~)
												□ 期間限定複数	
												┗(年度	
		状把握の部											
(1)		務事業の目		i 標						ンイチャナビナボ	(=====================================	VALUE	
2		段(主な活動 <mark>度実績(20</mark> :		行った	主か活動)					活動指標	<u>(事務事業の</u> 名称	活動量を表す指標)	単位
		業概要と同じ		-11 710	工'6/日勤)					****			
)/	補助金交	付団体致		団体
								$\boldsymbol{\vdash}$	1				
			年度に	計画し	ている主な活動	b)		\Rightarrow	1				
前:	牛度	と同様							ゥ				
		色/盐 点去	→ () -	-1 711	てのか)ナーサ	白好次活竿				计色比描	(144	· + - + - +	
白		<mark>家(誰、門を</mark> ≿、環境保全協		_0 (61	るのか) *人や	日然真源寺				刈豕拍倧	<mark>(対象の大きさ</mark> 名称	を表り指標)	単位
	-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						\Rightarrow	ア	自治会数	H10.		団体
								'		衛生自治	団体数		団体
		四/- 0 丰业	41- L	- 11	年七 パンボンフ				ウ	+ B + + +	(1) [A] - - - - - - - - - - - - -		
<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>					象をどう変える 効率的に行われ						(対象におけ 名称	る意図の達成度を表	[9 指標] 単位
		全協会の事				.		⇒	ア	新設された	<u> </u>	-ション数	
								7	1				
	/ ₂ +		<i></i>	+= */	+7.0.4v				ウ			\+.+.+.+.\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
		果(<mark>どんな結</mark> D減量化と適〕			てるのか)				-	上111100米1	<mark>信標(結果の</mark> 名称	達成度を表す指標)	単位
		こ収集・運搬、						_	ア	ごみの減量		でいる市民の割合	%
								\Rightarrow	1				
(0)	443	古光串 北	布经		40年度	40年度	00年度		ウ	左连 【			
(2)	総	事業費・指標の対	原专 隹移	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)			年度 引込)			
		国庙古		千円	(大麻)	(人(京)	(入原長)		()	ريكري			
	事	和 都道府県	支出金	千円									
入	業	内型品		千円									
量	費	記 その		千円	969	1,545	2,36	32		2,500			
		事業費計	(A)	千円	969	1,545	2,36			2,500			
	H	-タルコスト(A) + (B)	千円	969	1,545	2,36	52		2,500			
Г	•		ア	団体	16	24		35		30			
	;	活動指標	1										
-			ウ	田仕	004	004	0/	20		000			
	;	対象指標	アイ	団体団体	894 7	894 7	86	58 1		868			
	,	がいない はいいいい	<u>†</u>	141 PM	'	,		+					
			ア	箇所	16	24	(35		30			
	J	成果指標	1										
-			ウ ア	%	69.0	78.0	81	6		74.0		 	
	<u></u>	位成果指標		70	09.0	70.0	01	.0		14.0		+	
L			ウ										
(3)		務事業の環					,_,_					-	
	-/	7 車級車坐:	た。日日カム	1 +==	っかけけ何かっ	ハつはだんか	4又4号 ブロリカム	++0 +	-1	61.7			

容器包装りサイクル法の制定を受け平成9年のごみの分別収集の開始に伴い、家庭系ごみの分別と適正排出及びごみ出しルールの徹底を図るため。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ごみの適正処理、資源ごみのリサイクル等に対する市民の関心・理解も次第に深まり、当事務事業の効果も出ているが、ごみのポイ捨てや不法投棄は相変 わらず後を絶たない。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域自治会等から、国分・隼人地区におけるアパート・マンション等入居者や自治会未加入者等の一部住民のごみ出しマナーが悪い、という苦情やごみ出

しルールの徹底を求める声が出ている。地域自治会等とのトラブルも発生し、ごみステーションの利用や新設・確保の問題も起きている。

	事務事業名	ごみステーショ	ン設置費等補助事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE) 政策体系との		望価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		☑ 結びついている	【理由】	₽
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	い?意図すること	ごみステーションが設置される 処理・減量化及び再資源化等				・ 別かつ効率的に行われ、ごみの適正 寄与している。
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある【理	曲】与	☑ 妥当である 【理	由了之	
評	なぜこの事業を市からないのか?税金をする目的か?			テーションの)設置に際し設置費等の	一部助成	うことになっているが、ステーション を行うことは、自治体の責務である
価	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある【理	神)シ	☑ 適切である 【理	申」之	
	対象を限定・追加す限定・拡充すべきか	?	うことで、対象・意図ともに妥当	首である。			出と衛生的·効率的な収集運搬とい
	成果の向上余		┃ □ 向上余地がある 【理日		▼ 向上余地がない	【理由】	→
	成果を向上させる余果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのカ	べき水準との差 原因で成果向上	当補助制度の活用により、ごね 運搬業務が円滑に遂行されて		ョンの設置が推進され、こ	ごみの適正	排出と衛生的かつ効率的な収集
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
?効性評価	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		補助制度が無くなることで、ス置地区が増え、ごみの適正排				が増大するため、ステーション未設 3実施に支障が出る。
]1Щ	類似事業との第一可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はないとの統廃合ができる	ハか?類似事業	── 統廃合できる 🕤	連携でき	る 🥄 📗 統廃合で	きない 🕤	▶ 連携できない 🦜
	の連携を図ることに		類似事業もない。				
	が期待できるか?	△ +₩	▼他に手段がない【理由			/TIII 1	
	事業費の削減		┃ ┃ 削減余地がある 【理日	a) 🐠	▼ 削減余地がない	(理田)	₹
効率	07 (M) 7 3 1 C)	の適正化、住民	補助制度が無くなることで、ス 置地区が増え、ごみの適正排				が増大するため、ステーション未設 3実施に支障が出る。
性	人件費(延べ美 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	1) 2 >	☑ 削減余地がない	【理由】	₽
価	やり方を工夫して延 減できないか?成身 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	当事務については、市環境保 務量が少な〈削減の余地はな		事務職員が行っており、テ	市職員が行	jう協会との補助金交付事務は事
公平	心示地		■見直し余地がある【理	<u>∰</u>	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	対象が全自治会等であり、補助公平・公正である。	助内容等も	公平・公正な制度となっ	ている。ま	た、一部補助につき受益者負担も
3 /4)	評価結果の総括の 1次評価者として		(次年度計画と予算への反 (2) 全		N) 担当記 振り返り、反省点)	果長記入	
(1)	目的妥当性		□ 見直し余地あり 🔟				、 、
	有効性		□ 兄旦∪赤地のり / 必要が				ション設置費等補助事業の実施に ·減量化及び収集運搬業務の効率
	効率性 公平性	✓ 適切✓ 適切	□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり	こ寄与して	いる。		
٠, ,			案)・・・複数選択可	= 11	11.44.4+		改革・改善による期待成果
	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合·連 改革改善案 >	事業の	のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
7				~~			成維果持 低下
(5))改争、改善を実現	は9 る上で解決す	すべき課題(壁)とその解決	朿			

		平成	20	年度	事務事	業評価シ	<u>- </u>					
No	320-190	事	務デ	み適正処理啓発	車業				所属		生活環境	
140		事業	白						所属		環境衛生	
政領	-			やさしいまちづ	くり				課長		今村 政	
体系	極	-		型社会の形成					所属(策グループ
	`基本事業名	0 2		の適正処理の		吉坐力			電話	畨 号	45-5111	
	予算科目	会計一般		項 目 0 3 0 2	事業 70010	事業名 芥処理関連	経費	法令特制	こ無し			
				方、手順、詳細							事業期	間
				ごみ収集日程表の Dごみ収集予定を					成を行う。	□ 単	年度のみ	
C 07	以朱口任衣は、	3 H IC	从午反∪	りこの収集で定を	惟たし、印例の	上、主アに配	TD 9 6	ο,			年度繰返	
										V +		H 9年度~)
										□期	間限定複数	
										₽(年度	~ 年度)
	見状把握の部		5.1.TE									
	事務事業の目 手段(主な活動		手標				1	注制指	(事務事業の	:千動皇	た主オ比煙)	
	〒FX (エは旧野 年度実績 (209		行った	主な活動)				/口生//]日1元	(() 	//白刿里	で 1 又 9 1日1示 /	単位
事務	事業概要と同じ	;						ア ごみ出し	+1.>. <i>H</i> - 0	. <i>И</i> ⊏ ct:	7	枚
ごみ	収集プレート等 に伴うごみ容器	に関し	ては、経 たおこか	年損耗、ステーシ	ョンの増加、資源	原ごみの分別		ア この出し.	カレンターの	バトル人会	ζ	仅
							1	イ違反シー	ルの作成数			枚
				<mark>ている主な活動</mark> 景合と国分地区の		, 卒に言ひ!一 /坐 ろ	7					17
	収集プレート等(あって国力地区の	この人ノーション	が同文に仕り		ウ ごみ収集	プレートの作	F成数		枚
3	付象(誰. 何を	対象に	してい	るのか) *人や	自然資源等			対象指標	(対象の大きる	な表す	上海() 指標()	
市民									名称		H IW.	単位
							\Rightarrow	ア人口				<u></u>
								イ 世帯数				世帯
Ţ	意図(この事業	によっ	て、対	象をどう変えるの	<u>つか)</u>				(対象におけ	る意図の	D達成度を表	(す指標)
	出しルールを守				,				名称			単位
							\Rightarrow	ア違反ごみ	の件数 に関する苦情	主//+ 米/-		件
								イごみ出し	に関する日川	月十数		件
4	詰果(どんな結	果に終	詰び付け	けるのか)					指標(結果の	達成度	を表す指標)	
	ナの減量化と適豆								名称			単位
. 項1	Eに収集・運搬・	処理さ	110。					ア ごみの減量	直化に取り組ん	ひじいる	巾氏の割合	%
							,	ウ				
(2)	総事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度				
-	の指			(実績)	(実績)	(実績)	+	(見込)		_		
45	財 国庫支 都道府県	山 <u>本</u> 支出金	千円				+					
投員	事 浪 地方	債	千円									
投票入意量	製訳 その	他	千円	4.040	0.045	4,	.	0.405				
	一般則 事業費計	<u>1까</u> (A)	千円	1,210 1,210	2,615 2,615	42	21	2,485 2,485				
1	ナ木只川	(**)	113	1,210	2,010	72	-	2,700				
-	<u>┃</u> トータルコスト(A) + (D)	千円	1,210	2,615	42	21	2,485				
\vdash	- 7777 A [(A) + (B) ア	枚	65,000	74,070	84,35		84,350				
	活動指標	1	枚	60,000	20,000	50,00	00	50,000				
<u> </u>		ウ	枚	407.045	407 770		10	340		\perp		
	対象指標	アイ	世帯	127,615 53,129	127,773 53,583	127,45 53,89		128,383 54,170				
	ルプロ[78 L√	ウ	in in	55,123	55,505	55,08	,,,	U 1 ,170				
	p == 11-1=	ア	件	53,600	15,000	23,84		23,000				
	成果指標	イウ	件	200	195	10)2	100				
—		リア	%	69	78	,	32	74				
-	L位成果指標	7		55				1 1				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

容器包装リサイクル法の制定を受け平成9年のごみの分別収集の開始に伴い、家庭系ごみの分別と適正排出及びごみ出しルールの徹底を図るため。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ごみの適正処理、資源ごみのリサイクル等に対する市民の関心・理解も次第に深まり、当事務事業の効果も出ているが、ごみのポイ捨てや不法投棄は相変わらず後を絶たない。平成20年度からごみの分別収集のルールを統一し、全市的なごみの適正処理等を推進している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域自治会等から、国分・隼人地区におけるアパート・マンション等人居者や自治会未加入者等の一部住民のごみ出しマナーが悪い、という苦情やごみ出しルールの徹底を求める声が出ている。地域自治会等とのトラブルも発生し、ごみステーションの利用や新設・確保の問題も起きている。

	事務事業名	ごみ適正処理		所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課		
2	評価の部(SEE) を 政策体系との整		価、ただし複数年度事業Ⅰ ■ 見直し余地がある [3	は途中評価	▼ 結びついている	[理由]	<u>5</u>		
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついっ	りは市(町)の政 い?意図すること		己布により、乳	家庭におけるごみの適正		♥ 原ごみの分別・再資源化の推進が		
的妥	公共関与の妥	·当性	■ 見直し余地がある 【3	理由】ラ	☑ 妥当である 【理	曲			
評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	ヾ行わなければな ₹投入して、達成	一般廃棄物の適正処理は自治体(市)の責務であり、ごみ出しルールが守られ、ごみの分別排出・収集・適正 処理が円滑に行われるという点からも市民にルールの周知徹底をはかることは妥当である。						
価	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある【3	理由】与	☑ 適切である 【理	由了			
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		家庭系ごみの適正処理という	ことで、対象	₹・意図ともに妥当である	0			
	成果の向上余	:地	□ 向上余地がある 【理	由】 🧇	▼ 向上余地がない	【理由】	₽		
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	がき水準との差 原因で成果向上	引き続き、当事業による推進を図りながら、違反ごみやごみ出しに関する苦情の抑制に努める。						
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 🕠		☑ 影響有 【その内	容】 🞝			
効性評							毎年ごみの収集日が変更となり、 つ出せばよいか判らなくなる。		
価	類似事業との 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	本的な手段,	事務事業)				
	目的を達成するには以外他に方法はない	ハか?類似事業	□ 統廃合できる 🕤 📗	連携でき	る 🕤 🗌 統廃合で	きない 🔽	□連携できない		
	との統廃合ができる の連携を図ることに		類似事業もない。						
	が期待できるか?	6 A 11b	✔他に手段がない【理						
	事業費の削減	余地	□削減余地がある【理	甲) 力	☑ 削減余地がない	(理由)	→		
効率性	成果を下げずに事態 いか?(仕様や工法 の協力など)		引き続き、広告掲載方式を導入者用や啓発・指導用に限な				. ごみの分け方・出し方チラシも転		
評価		業務時間)の削	□ 削減余地がある 【理	由)	☑ 削減余地がない	【理由】	₽		
	やり方を工夫して延減できないか?成界 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	Rを下げずにより や委託でできな	事業費を削減するためにチラ また、出前講座により市民に			等おこなうた	とめ、人件費の削減余地はない。		
公平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある【刊	理由】ラ	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽		
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	よいか?受益者	対象が全市民・全世帯につきたらごみ出しのルールの徹底			事務事業に	こは該当しない。受益者負担を求め		
	評価結果の総括の		(次年度計画と予算への)		N) 担当 振り返り、反省点)	果長記入	12.)		
(1)	目的妥当性 有効性 効率性 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり → 家庭 □ 見直し余地あり → 富信 信が □ 見直し余地あり □ である	におけるご ている。 違反 必要と考え 収集日程表	みの適正処理、資源ごみ ごみやごみ出しに関す られる。一応の事業効果	る苦情等に は表れてに 成に取り組	再資源化等の取り組みは、概ね定は横ばいであるが、更なる啓発・徹いるが、引き続き、広告掲載方式のむ必要がある。なお、国分地区の		
<	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合·連 改革改善案 >	□ 事業の □ 事業の 携 □ 事業の	案)・・・複数選択可 つやり方改善(有効性改善) つやり方改善(効率性改善) つやり方改善(公平性改善)	(従来	状維持 通りで特に改革改善をし	(B)改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果 低 下		
	MT MACK								

			平月	戉	20	年度	事務事	業評価シ	-						
N	lo.	320-200	事	<u> </u>	務 家屋	庭ごみ減量化対		· 補助事業					寓 部	生活環境	
Ľ	О.		事	_				八冊以子来				所属		環境衛生	
政	策	政策名				:やさい/まちづ	(1)						長 名		
	系	施策名	0			社会の形成	H+\#						(係)		策グループ
-		基本事業名	会記		発来が 款	」の適正処理の 項 ┃ 目 ┃	事業	事業名					番号	45-5111	
	子	·算科目						み減量化関		費	法令 根拠 無し				
車	黎三	1業の概要/	目体	705	1704511		期間限定道					事業期	閂		
						するため、環境保					びコンポス		- 尹耒煦 単年度のみ	HJ	
						要な経費を補助す								1,200	
						円を上限に1/3 f内の環境保全協		証、保証書、E	门繿持	参で	申請。		₽	4年度繰返	·· 45 5
													- #	□ (月間限定複数	H 11 年度~)
													L # L>(年度	
		状把握の部													
(1)		務事業の目		指	標				1		これまれましょ西ノ	古な古米の	ンエチトロ	+ = ++比+= \	
2		段(主な活動 <mark>- 度実績(20:</mark>		1.74	行った:	主な活動)					活動指標(事務事業の 名称)沽	を表す指標)	単位
		業概要と同じ		, C	1 3 7 7 6 .	工·6/日至//				7	電气 十十一		の唯り	th:\ \\	
										<i>y</i>	電気式生ご	_ め処理器	い無ク	、甲込釵	台
_					— .				🖒	1					
		- <mark> </mark>	年度	に	計画し	ている主な活動)		7						
100	<i>دا</i> ٦	(C)-1/1/K								ウ					
				に	してい	るのか) * 人や	自然資源等				対象指標(対象の大きる	さを表す	指標)	
市	民、	環境保全協会	<u> </u>						_	_		名称			単位
									\Rightarrow	_	人口 環境保全協	a.会			人 団体
													E4 FT		
4-						象をどう変えるの	のか)				成果指標(る意図	の達成度を表	
		·等の減量化及 発全協会の事業							\Rightarrow	ア	補助した電	名称 ②気式生ご	み処理	器数	単位 台
									7	1	11323 0 10 2	37.02 0 == -	,,,,,,	HH 2//	
	<i>u</i> +	田 / じ / ナヽ/+	- m ı-	- <i>u</i> +	- 7 V /-+ I-	17 O 4)				ウ	上人士田北		` + + +	* * * * * * * *	
		果(<mark>どんな結</mark> D減量化と適]				(ທູນທຸ					上位成果指	<u>は保(結果の</u> 名称	達风及	を衣9 指標)	単位
		に収集・運搬、							\Rightarrow	ア	ごみの減量化		っでいる	市民の割合	%
									7	イウ					
(2)	総	事業費·指標	票等	1	× /×	18年度	19年度	20年度			年度				
(-)		のŧ	隹移		単位	(実績)	(実績)	(実績)			記込)				
		財 国庫支 都道府県	出金	<u>.</u>	千円										
投	事	源 地方		<u>π</u>	千円										
	事業費	りその	他		千円										
-	人	一般照 事業費計	<u>け源</u> (A)		千円	1,367 1,367	1,039 1,039		79 79		1,600 1,600				
		尹未貝叫	(٨)	+	IIJ	1,507	1,009	9	19		1,000				
	Ų	ータルコスト(A	\\	5/	千円	1,367	1,039	0.	79		1,600				
-	1	7777717	 _	ッ ア	台	78	61		58		80				
		活動指標		1			-								
-				ウァ	ı	107 616	107 074	107 4	50		128,383				
	ア 人 127,615 127,871 127,45 対象指標 イ 団体 7 7						1		128,383						
	ָל d							-							
		······		アノ	台	78	61	-	58		80				
		成果指標		イウ											
				ア	%	69	78		82		74				
	上	位成果指標		イガ											

| |(3)||事務事業の環境変化·住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

資源ごみの分別・再資源化に伴い、廃棄物の排出抑制・減量化等を図ることとし、特に家庭系生ごみの減量化(リサイクル)を推進するため、平成11年4月か ら実施することとなった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 家庭系生ごみの分別リサイクルを、平成21年度に試行的に隼人中道地区の約500世帯で実施することとなったが、来年度の全市的試行事業の実施を含め 資源である生ごみの分別リサイクルに対する市民の理解や関心も高まることにより当補助事業の成果も向上するものと考えられる。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に無し

	事務事業名	家庭ごみ減量(業	化対策機器等購入補助	事 月	「属部	生活環境部	部	所属課	環境衛生課
2			価、ただし複数年度事			(-t 1)	<u>-</u>	Irm I 1	
	政策体系との整		見直し余地がある	【理由】	→	結び	ついている	【理由】	⊅
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	ヽ? 意図すること	家庭用電気式生ごみ処理 ことができ、生ごみの排出						りで処理・リサイクル(堆肥化)する 寄与している。
的妥	公共関与の妥	当性	見直し余地がある	【理由】	₽	妥当	である【理日	申】之	
当性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	で行わなければな ・投入して、達成	生ごみ等の減量化を図りに繋げる必要があるため。	— -	敷根清	帚センターへ	への負荷軽減	載や焼却 :	コスト及び焼却灰処理費等の削減
価	対象・意図の姿	妥当性	見直し余地がある	【理由】	<u>₽</u>	適切	である【理Ⅰ	曲】ラ	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		生ごみの減量化・リサイク	ル等の排	進進とい	うことで、対象	象・意図ともに	こ妥当では	58.
	成果の向上余	地	向上余地がある	【理由】	₽	向上:	余地がない	【理由】	₹)
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 気因で成果向上		繋がって	いるが、	PRや啓発流	舌動は十分と		い、生ごみの排出抑制や減量化等 いので、環境保全協会組織の活用
有	廃止・休止の反	は果への影響	影響無 【理由】 『	∌		影響	有【その内	容】 🖜	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		補助制度がなくなることで	、生ごみ	⊁処理器	等の購入・流	舌用が減り、	成果の向.	上が図れなくなる。
価	類似事業との紹	統廃合・連携の	他 他に手段がある(具体的な	〕手段,	事務事業)			
	可能性 目的を達成するには	は、この事務事業	└ ↓ 統廃合できる つ ↓	連	携できる	5	統廃合で	きない 与	連携できない
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに。	いか?類似事業 か?類似事業と	類似事業もない。	~	<i>J</i> /3 C C U	•	NO DE LA CO	2.000	233 00:300
	が期待できるか?		他に手段がない【	理由】,	<u></u>				
	事業費の削減	余地	削減余地がある	【理由】	₽	削減	余地がない	【理由】	⊅
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)		事業費の削減は、補助金 果向上が懸念される。	額の削	咸を意味	まするので、	生ごみ処理됨	器等の購ん	入及び活用促進に支障があり、成
性	人件費(延べ第 減余地	養務時間)の削	削減余地がある	【理由】	₽	削減	余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	当事務については、市環 務量が少なく削減の余地		劦会の事	務職員が行	うっており、 市	5職員が行	う協会との補助金交付事務は事
公	受益機会·費用	月負担の適正	見直し余地がある	【理由】	<u>گ</u>	公平	・公正である	【理由】	₽
平	心赤地								
	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	全市民(家庭)が対象である。	5り、また	、当事業	美の適用(補	助率·自己負	負担額)に	ついても公平・公正が保たれてい
3			(次年度計画と予算へ					長記入	The state of the s
(1)	1次評価者として(目的妥当性	の評価結果 適切		•		長り返り、反		畑.川井イ/	
	有効性	適切	見直し余地あり 📆 🥫	 大果をみ	ているか	、まだ、充分	分普及してい	るとは言え	えないので、PRや啓発が必要と考
	効率性	適切)UE 0 X 1000)			サイクルされ ると思われる		i用方法等	についても実態把握を含め、検討
(3)	公平性 今後の事業の方[<u>適切</u> 句性(改革改善:	見直し余地あり [©] 案)・・・複数選択可				•	(4)	改革・改善による期待成果
'	廃止 休」□	事業σ	つやり方改善(有効性改善			大維持 □			隆止·休止の場合は記入不要)
	目的再設定 事業統廃合 · [)やり方改善(効率性改善)やり方改善(公平性改善		(促米)	せい ご行にひ	(革改善をし	<i>(</i> ۱۱)	*•. コスト
	改革改善案 >				# ` # ヲ	L L + I - TE /=	=∩;±m±/₄	/ 0 /	向 上
			によるPRなど、普及・啓発 意欲を高める方策も必要と			とともに現行	「の補助率」	7 32	成維
									果持
									低下
(5)	改革、改善を実現	する上で解決で	すべき課題(壁)とその角	解決策					
Ĭ <i>'</i>			, , , , , , , , , , ,	•					

平成 20 年度

事務事業評価シート

N	o.	320-210	事		莛系一般廃棄 物	加以集運搬事業	¥			所属 部		
			事業	1						所属 説		
政:	策-	政策名	_		<u>やさいほちづ</u>	(1)				課長名		
体	玄L	施策名	_		社会の形成	 				所属G(係)		策グループ
		基本事業名		廃棄物 款	Jの適正処理の 項 ┃ 目 ┃	推進 事業	車		 	電話番号	3 45-5111	
	予	算科目	会計 一般				事業名	費	━ 法令 ─ 根拠 廃棄	愛物の処理及び	青掃に関する	法律
					方、手順、詳細			全位	本像を記述)		事業期	間
					運搬業務を民間) 国分市清掃社 , :			+ :	知地区 (有) 岩井		単年度のみ	
見 見 対	区方	」安武耒旬) :(株) 三州衛生	国力 :公社,	霧島地[/ 国力巾净饰位, 区:(有) 若葉清掃社	毕入地区:(M) 国 L,福山地区:(有)	万年人倒王公下 福山サニタリー	上,神	12世区(制 石)		兴ケ帝怨气	
										V	単年度繰返	S 47 年度~)
3	是計	の収集こみ(き	豕廷糸	の可燃、	不燃·粗大、資源	(こみ)					期間限定複数	
										L >(
		犬把握の部									,	
		務事業の目		標				ſ	、イチ11ド1 <u>年</u>	, 		
		设(主な活動 <mark>度実績(20</mark> 年		行った	士か:壬動)				沽 數指標	<mark>(事務事業の活動</mark> 名称	量を表す指標)	単位
		 		-1 J J IC.	工/み/ロ里//)			-				
									ア収集連搬	した家庭系ごみ(の量	t/年
								7	1			
前生	E度	と同様					'	⇒	ウ			
			1 / 1 / -	-1 1 1	7010411				-			
					<mark>るのか) * 人や</mark> 系の可燃、不燃·*				对	<mark>(対象の大きさを表す</mark> 名称	す指標)	単位
	,,,,	/ / 1/ ICI4	гщст	00200	1. mw. 1. /mw L.		ı	⇒	ア ごみステー	<u>- ロボー</u> -ションに排出され	れるごみの量	<u>+世</u> t / 年
								7	1			-
	<u>عند 1</u>	- 0 事業	i	- 11	タナ バンボニフィ	0.41)			ウボーギー	(* 		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成果指標(対 効率的かつ適正に収集運搬が行われる。											図の達成度を表	<u>す指標)</u> 単位
XII-	-43	カン地正にか	人术注》	1	ア収集運搬さ	<u>名称</u> れたごみ量 / 排出	されたごみ量	<u>+ 12</u> %				
								⇒	1			
	/+ F	ロ / 1 * / よ / ナ	· /-	+ = 1 /	+2 o 4)				ウールケギ田は		÷ + + + + 1 = 1	
		<mark>₹(どんな結</mark>)減量化と適ጔ		這ひ付け	するのか)				上位从果	<mark>旨標(結果の達成原</mark> 名称	<u> 芰を表す指標)</u>	単位
		·収集·運搬·		れる。				۱ ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	アごみの減量	化に取り組んでい	る市民の割合	%
									1			
(2)	445 2	事業費·指標	五公	r 1	18年度	19年度	20年度		<u>ウ</u> 21年度			
(2)	和心言	尹未貝・招信 の推		単位	(実績)	(実績)	20年度 (実績)		(見込)			
		国庫支持		千円	(DCINE)	(XXIIIX)	(SCHOOL)		(202)			
投	事	和 都道府県3		千円								
投 入 量	業	地方的 そのf		千円			77,681		78,487			
量	費	訳 一般則	100 <u> </u>	千円	281,839	278,632	205,945		207,689			
			(A)	千円	281,839	278,632	283,626		286,176			
	L											
	-											
	卜-	-タルコスト(A)) + (B)	千円	281,839	278,632	283,626		286,176			
			ア	t / 年	31,341	30,728	29,561		29,000			
	λi	舌動指標	イウ					-				
			ア	t / 年	31,341	30,728	29,561	t	29,000			
	Ż	付象指標	1			,	,		, ,			
\vdash			ウ ア	%	100	100	100	+	100			
	Б			70	100	100	100		100			
			<u>イ</u> ウ	0,	00	70		1	-,			
	上布	立成果指標	ア イ	%	69	78	82	-	74			
			ウ									
(3)	事	務事業の環	境変化	L·住民								

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

容器包装リサイクル法の制定を受け平成9年のごみの分別収集の開始に伴い、家庭系ごみの分別と適正排出及びごみ出しルールの徹底を図るため。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

ごみの適正処理、資源ごみのリサイクル等に対する市民の関心・理解も次第に深まり、当事務事業の効果も出ているが、ごみのポイ捨てや不法投棄は相変わらず後を絶たない。本市のごみ分別収集のルールも平成20年度から統一されたので、ごみの適正処理等が推進され収集運搬業務の更なる効率化が期待で きる。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域自治会等から、国分・隼人地区におけるアパート・マンション等入居者や自治会未加入者等の一部住民のごみ出しマナーが悪い、という苦情やごみ出し ルールの徹底を求める声が出ている。地域自治会等とのトラブルも発生し、ごみステーションの利用や新設・確保の問題も起きている。

	事務事業名	家庭系一般廃	棄物収集運搬事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課				
2	評価の部(SEE) プ 政策体系との整		価、ただし複数年度事業に ■ 見直し余地がある【野		☑ 結びついている	【理由】	₽				
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	? 意図すること	一般家庭から排出されるごみ われている。。	を収集運搬	業務を民間業者に委託	をおこない	効率的かつ適正に収集運搬が行				
的妥	公共関与の妥		□見直し余地がある【理	曲】为	▼ 妥当である 【理	曲)之					
評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	行わなければな 投入して、達成	 一般廃棄物の処理は自治体 	(市)の責務	であるため、家庭系のこ	ごみを適正(に収集を行うことは妥当である。				
価	対象・意図の妥	妥当性	□見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【理	曲 🎝					
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか			ごみステーションに排出される家庭系の可燃、不燃・粗大、資源ごみを効率的かつ適正に収集運搬するということで、対象・意図ともに妥当である。							
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理】	却	▼ 向上余地がない	【理由】	₽				
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	家庭から排出されるごみの収集運搬業務が適正かつ効率的に行われ、ごみの適正処理・リサイクル・減量化等 の推進に寄与している。								
有	廃止・休止の成	成果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🤝					
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		一般廃棄物の処理は自治体 集運搬する必要がある。	(市)の責務	であるため、引き続き当	事業をおこ	こない適正に家庭から出るごみを収				
価	類似事業との約 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)						
	目的を達成するには以外他に方法はない		□ 統廃合できる 🕤 🛭] 連携できる	る 🥄 📗 統廃合で	きない 🕤	□連携できない				
	との統廃合ができる; の連携を図ることに。 が期待できるか?		類似事業もない。								
-	事業費の削減	全地	✓ 他に手段がない 【理由✓ 削減余地がある 【理】		□ 削減余地がない	(理由)	5				
効率	成果を下げずに事業いか?(仕様や工法の協力など)	養 費を削減できな		・ バ、内容の精	ー 査や算定方法の見直し	を行ったり	、新設ごみステーション増の抑制				
性	人件費(延べ業 減余地	養務時間)の削	■ 削減余地がある 【理	#1 2	☑ 削減余地がない	【理由】	₽				
	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員もいか?(アウトソーシ	kを下げずにより や委託でできな	委託事業につき、削減余地が	ぶい 。							
公平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある 【理	単甲プ	☑ 公平・公正である	る【理由】	Ð				
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	 対象が、全市民から出される: 	家庭ごみの	ため一部の受益者に偏	った事務事	3業ではなく公平・公正である。				
			(次年度計画と予算へのほ			果長記入					
(1)	1次評価者として(目的妥当性	の評価結果 ▼ 適切	□ 見直し余地あり		辰り返り、反省点) ************************************		* ** * * * * * * * * * * * * * * * * *				
	有効性 効率性 公平性		日日古し合地をり	家庭系ごみ			き続き当事業を行い適正かつ効率 今後も経費節減や効率化を推進し				
(3)	今後の事業の方向	句性(改革改善	案)・・・複数選択可				改革・改善による期待成果				
<	☐ 廃止☐ 付☐ 目的再設定☐ 事業統廃合·連接內革改善案 >	▼ 事業の	0やり方改善(有効性改善) 0やり方改善(効率性改善) 0やり方改善(公平性改善)		伏維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加向				
各	委託業者から提出され		₹·算定方法·基準等の調整及 重搬業務の効率化と経費節減			こよる新	上 成維 果 低 下				
(5)	改革、改善を実現	!する上で解決す	すべき課題(壁)とその解決	策							
合		ばの実態把握、委			及び基礎数値等をどの。	ように調整し	し設定するか、先進自治体の実例				

		Ι.	_	75		3 3,3 3 2	IVAL IM V						☆ 7
No	ο.		事	務 特別	引清掃廃棄物運	搬·処分支援	事業				所属		
											所 属		
政:	- -				やさいいまちづ	(1)					課長		
体.		施策名 0	3	循環型	型社会の形成						所属G	(係) 廃棄物対	策グループ
14	尔	基本事業名 0) 2	廃棄物	の適正処理の打	佳 進					電話	番号 45-5111	
			信会	款		事業	事業名		24	- ^			
	子	· 算科目 = -	一般				芥処理関連	経費	过	令 拠 特	こなし		
					方、手順、詳細							事業期	間
					ドランティア清掃(特		でする際に生し	じる廃:	棄物の	運搬·処	分を支援す	□ 単年度のみ	
					等の処分費の助成		/ . 0. 000 TI						
1 🛎	汀				,000円、2トン車:1 000円、2トン車:3,0							☑ 単年度繰返	
・ 2 佳	≣ J	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				500円、半主ドブック	7.1,500[]						S 50 年代~)
					に運搬・処理を年	間委託。						□ 期間限定複数	效年度
					区では、実施してい		ていない)					┗(年度	~ 年度)
1	現	状把握の部(ロ	00)									· ·	
(1)	事	務事業の目的	」と指	標									
	手.	段(主な活動)							活	動指標	(事務事業の	活動量を表す指標)	
		度実績(20年									名称		単位
国分)地	区 57自治会	借上	車台数	356台、処分台数	152台			7 ±	:t孚 / □→ r	成)した台数		台
		区 60自治会 区 15自治会			45台 搬台数 35台					.j友 (以) /	ル) U/C 口奴		
/冉儿	그기	地位 10日宿安	ンハ	レハー理	別口奴 35百			_	/ H+	: 中心: # + =	太宇佐!もっ	コンムを	
2	1年	度計画(21年	度に	計画し	ている主な活動)		\Rightarrow	1 行	加有抗	を実施した目	コルマ奴	団体
		と同様						,					
									ウ				
	対	象(誰、何を対	象に	してい	るのか) *人や	自然資源等			प्रेर	象指標	(対象の大きさ	を表す指標)	
		隼人·溝辺地区(2 10 10)				,,,	23(3)	名称	C DC JHIM)	単位
清排	記	動により排出さ れ	れる廃	発棄物								区の自治会数	団体
								,		援(助)	戊)対象となっ	た借上車輌台数	台
									ウ				
					象をどう変えるの		. <u>-</u>		成	果指標		る意図の達成度を表	
早れ	Κ,	土砂等の連搬・	処分れ	が円滑に	こ行われ、地域の衛	す生・景観が保た	これる。	, k		· +== / □ + •	<u> 名称</u>	A #L	単位
											<u>成)した自治:</u>	会 数	団体
								,	1 又 ウ	.按(別)	成)した台数		台
	4士	果(どんな結果	3 1- 4:	± 7 % / . † /-	+20th)				_	位式田	七棒(姓用の	達成度を表す指標)	
		木 (とんな話す の減量化と適正打) @ () () ()					<u> </u>	101 京(紀末の 名称	<u> </u>	単位
		に収集・運搬、処						_1	アご	みの減量		んでいる市民の割合	%
								\Rightarrow	1				·
									ゥ				
(2)	総	事業費·指標等		単位	18年度	19年度	20年度		21年				
		の推	移		(実績)	(実績)	(実績)		(見ì	<u> </u>			
		財工運動		千円									
投	事	都道府県支出		千円				-					
投入量	業	が 地方債 その他		千円 千円				-					
量	費	一般財活		千円	4,029	3,532	3,63	36		4,030			
		// UN XEI	尔 A)	千円	4,029	3,532	3,63			4,030			
ŀ		于未具印(, (₎	113	4,020	0,002	0,00			1,000			
J													
J													
_ [١-	ータルコスト(A) +	- (B)	千円	4,029	3,532	3,63	36		4,030			
			ア	台	421	394		37		437			
	į	活動指標	1	団体	248	234	13	32		132			
			ウ	- T						0==			
		→	ア	団体	681	681		76		676			
		対象指標	설	台	421	394	43	37		437			
			ウマ	田休	248	234	4.5	32		132			
		成果指標	アイ	団体 台	248 421	394		37		437			
	,	ᄊᄌᄀᆸᆙᄚ	1 ウ		441	35 4	40	,,		1 01			
			ア	%	69	78		32		74			
	上	位成果指標	1	, 0						- ' '			
	_		ゥ										
(3)	事	務事業の環境	变化			<u>.</u>		-					
					- 414141741								

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

旧国分市・旧隼人町において、自治会等が地域のボランティア清掃を実施した際に出るごみ(草木・土砂等)を処理するに当り、運搬手段や処分先の確保、処分料等の問題が発生したことから、ボランティア清掃活動を支援・解決することとした。開始は昭和50年頃と見込まれる。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成13年4月から廃棄物の野外焼却(野焼き)が禁止されたことに伴い、当支援事業の申請件数が多くなった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 自治会等から「清掃時(主に日曜日)に敷根清掃センターを開所(営業)してほしい」との要望が出ている。

	事務事業名	特別清掃廃棄	物運搬·処分支援事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課			
2	評価の部(SEE) ³ 政策体系との熱		「価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理		☑ 結びついている	加州				
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	ウは市(町)の政)? 意図すること		•			支援をおこない環境衛生・景観等			
的妥	公共関与の安		□見直し余地がある【理		☑ 妥当である 【理	•				
性評	らないのか?梲金を する目的か?	が行わなければな ・投入して、達成	また、市が自治会の運搬の支 処理は自治体(市)の責務であ 妥当である。	援をするこ。 うるため、自	とで草木・泥(ごみ)が適 治会からでる草木、土砂	正に収集・ 少(家庭系の	運搬、処理される。一般廃棄物の のごみ)を適正に収集を行うことは			
価	対象・意図の多	妥当性	▼見直し余地がある【理							
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		自治会が、道路、側溝、河川等をおこなうことで、地域の衛生・景観が保たれる。現在、国分・隼人・溝辺地区のみ本事業を適用しているが、残りの霧島、福山、横川、牧園地区でも地域ボランティア清掃を実施しているので、一元化を図る必要がある。							
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	1	□ 向上余地がない	【理由】	₽			
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 見因で成果向上	現在、実施方法が、各地区ごとに異なっているので、支援方法を調整して霧島市全域にて、各自治会に対して 草木・泥の運搬を支援する必要がある。							
有	廃止・休止の原	艾果への影響	□影響無 【理由】 🕤		▼ 影響有 【その内	容] 🦜				
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		一般廃棄物の処理は自治体(泥(ごみ)のを収集運搬を支援			事業をおこ	ない適正に自治会から出る草木・			
価	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	✓ 他に手段がある(具体→ 地区活性化補助金、							
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 5 🔽				■連携できない 与			
	以外他に方法はない との統廃合ができる	か?類似事業と	地区活性化補助金(協働共生 万円等の調整は検討の余地が		治会2万円、ふれあいが	ミランティア	の日(市民運動推進室)自治会1			
	の連携を図ることに。 が期待できるか?	より、成果の向上	一他に手段がない【理由							
	事業費の削減	余地	▼削減余地がある【理由		□ 削減余地がない	【理由】	⊅			
効率	成果を下げずに事勢 いか?(仕様や工法 の協力など)		現在、各地区ごとに行っている が可能である。							
性	人件費(延べ美 減余地	養務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理由	<u> </u>	□ 削減余地がない	【理由】	₽			
	やり方を工夫して延	具を下げずにより や委託でできな	委託事業の内容を変更して、自治会への支援方法を検討することが可能である。							
公	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	▼ 見直し余地がある 【理	由了	□公平・公正である	5 【理由】	→			
· 性 評	事業の内容が一部で ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者		ている。本			けなので、一部の地区の受益者(自 的な支援方法を検討の上、公平な			
_	評価結果の総括の		(次年度計画と予算への反		N) 担当記 振り返り、反省点)	果長記入				
(1)	目的妥当性 有効性 効率性	□ 適切□ 適切□ 適切	 ▼ 見直し余地あり ▼ 見直し余地あり ▼ 見直し余地あり ▼ 引き続 ▼ 支援 	0年度にお 類似事業と たき、継続協 事業」(共生	いて、本事務事業の1% との統廃合及び新たなま 議となっている。自治会	を援制度等 活動に対 ランティア	次評価を行い、事業の見直しや一について検討したが、結論が出ずする支援制度である、「地区活性化活動推進事業」(総務課)の活用・			
〈現**携	□ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合·連 改革改善案 > 在(平成20年度に)抵 補助金の交付要綱 「地区活性化支援事 を検討する。	▼ 事業の ▼ 事業の ▼ 事業の ▼ 事業の 是示されている調を整備し、全地域 事業」(共生協働推	案)・・・複数選択可りやり方改善(有効性改善)のやり方改善(有効性改善)のやり方改善(効率性改善)のやり方改善(公平性改善)整案を基に、全庁的な協議を路対象の統一した支援制度とする。 主進課)や「地域のボランティア)	(従来) (従来) きまえ本市の る。 舌動推進事		(序 ない) をする。	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成維 果持			
1(5)	改革、改善を実現	まする上で解決す	すべき課題(壁)とその解決第	耟						

現在、地域清掃については、各地区の自治会ごとに実施方法が様々であるため、このような状況下で、全市的な統一した支援制度をどう構築できるか。

亚成 20 年度

		十八人	20	牛 反	チャカチャ	未計画ン				
No	. 320-230	事	務示	去投棄対策事業	<u></u>				所属部 生活環	境部
INO		事業	10						所属課 環境衛	i生課
正左台	政策名	0 2	自然に	やさしいまちづ	くり				課長名今村	政憲
政策 体系	<u>《</u>	0 3	循環型	社会の形成					所属G(係) 廃棄物	対策グループ
件刀	基本事業名)棄の防止					電話番号 45-511	11
	予算科目	会計 一般	款 0 4		事業 70010 塵	事業名 芥処理関連	経費		かの処理及び清掃に関す 5環境美化条例	る法律
事務	事業の概要	(具体的	りなやり)方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体像を記述)	事業	期間
不法	投棄を未然に	防止する	るため、ヨ	環境パトロール、 看	動板設置、その 代	也啓発活動等	を行う	とともに不法投棄こ	ぶみの回 □ 単年度のa	
			回収)さ	れた廃棄物のうち	、市の廃棄物処	理施設では処	1理が	困難な廃棄物を民	間の処	
	等で適正に処 []] 地区において		第 223 日	線その他主要幹線	息道路の不法投	童ごみの回収	 を日	間団体に委託してに	ハる ≢ ┃️ 🗹 単年度繰込	
た、猿	霧島地区と牧園	地区で	は、不法	と投棄ごみに関す	る情報提供を郵	個局に委託し	てい	る。		(H 7年度~)
								B置し(国分:2名、負		
			投業しめ	⊁の回収·処理等、	迅速に対応で	さる体制をとつ	(61	රිං 	┗(年	度~ 年度)
	現状把握の部		3. 1 而							
	事務事業の目 手段(主な活動		1標					"千新圪棒"	■ 務事業の活動量を表す指	/亜 /
	午段(エな/戸里 年度実績(20)		行った	主な活動)				/白宝川1日1宗(李	1750月 	単位
	事業概要と同し		-13 - 70	<u> </u>				- ## T 7 % T		
								が古情及の小	法投棄等の件数	件
							$\boldsymbol{\vdash}$	イ 同収した加ま		件
		年度に	計画し	ている主な活動	1)		\Rightarrow	1回収した処理	主凶無戌未彻	IT
前年	度と同様							ウ		
ķ	付象(誰、何を	対象に	こしてい	るのか) *人や	自然資源等			対象指標(対	対象の大きさを表す指標)	
	、不法投棄ごみ						ı,		名称	単位
							\Rightarrow	ア人口		人
							,	イ 処理困難廃	棄物の数	件
Ę	今回(この事業	¥1	って tit:	象をどう変えるの	<i>ጉ ተ</i> ለ)			-	対象における意図の達成度を	は悪すお煙)
	記 <mark>図(との事</mark> 系 :投棄をしない。	FIC & .) C (X)	象をとう支えるい	() (1)			/ (人)	名称	単位
								ア苦情及び不		件
							7	1		
L	オ田(じし おん	t == 1= 4	·+ · · · / /	12 O A)				ウトなば用おけ	≖ /灶田 o 法 # c z z z z * b	
	<mark>結果(どんな紀</mark> :投棄をしない。	未にだ	行の打工) ອທ <i>າ</i> ນ)				上型风未拍作	票 <mark>(結果の達成度を表す指</mark> 名称	票) 単位
'~	3222000						_	ア 苦情及び不		件
							\Rightarrow	1		
(2) (T 66						ウ	1	
(2)	総事業費・指権		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)		21年度 (見込)		
	国庫古	<u>推移</u> 出金	千円	(天順)	(天限)	(天限)	-	(光心)		
+ ∧ =	都道府県	支出玄	千円							
投事	地方 地方		千円							
入量量	制訳 その		千円	4 404	4.000	0.00	^	2.004		
	一般則 事業費計		千円	1,481 1,481	1,936 1,936	2,29 2,29		2,691 2,691		
-	デ木貝川	(11)	IIJ	1,701	1,000	2,23		2,001		
L										
$\vdash \!$	トータルコスト(A		千円	1,481	1,936	2,29		2,691		
	活動指標	<u>ア</u> イ	件件	164 261	219 219		79 98	170 190		
	,ロエハ1ロ.1 <u>ツ</u>	ウ	- ' '	201	213	- 1,				
		ア	人	127,615	127,773	127,4		128,383		
	対象指標	1	件	261	219	19	98	190		
		ウァ	<i>II</i> +	464	460	4.	70	170		
	成果指標	ア イ	件	164	166	1	79	170		
	水木油水	ウ					-			
		ア	件	164	166	1	79	150		
] _	上位成果指標	1								
(C) -	= 20 == 22 == 2	ウ		2						
1(3) 🛚	事務事業の環	计首型化	ィ・1年足	百日等						

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成13年4月の家電リサイクル法及び平成17年1月の自動車リサイクル法等の施行に伴い、廃家電・廃自動車等の適正処理及びリサイクル等が開始され、 リサイクル料の負担義務が生じたことや市民の道義・モラル等の低下が要因と思われること等による廃棄物の不法投棄が行われるようになったため、不法投

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 不法投棄に対する罰則が強化されまた、霧島市生活環境美化条例も制定されたが、特に国分地区においては依然としてごみのポイ捨て・たばこの投げ捨 て等の不法投棄が目立つ。苦情及び不法投棄件数ともにほぼ横ばいで、大きな変化は無いが、環境美化推進員の活躍で不法投棄箇所の通報が増えるこ と等による件数増が予想される。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし

	事務事業名	不法投棄対策	事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課				
2	評価の部(SEE) · 政策体系との		価、ただし複数年度事業 ■ 見直し余地がある	業は途中評価 【理由】 <mark>う</mark>	☑ 結びついている	【理由】	₹				
目		い?意図すること		下法投棄を未然に防止し、不法投棄をしないようにする対策を講じることは、環境保全・美化、ごみの適正処 里、資源の有効活用等の推進に繋がるとともに、循環型社会の形成に寄与している。							
的妥	公共関与の女		■見直し余地がある	【理由】 🥕	☑ 妥当である 【理	即之					
評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	が行わなければな 投入して、達成	不法投棄の防止、不法投 必要であり、妥当である。	棄ごみの回収別	ひび処理困難廃棄物の道	適正処分領	等に対するある程度の公共関与は				
個	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある	【理由】 🤼	☑ 適切である 【理	甲」之					
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		不法投棄防止対策という。	不法投棄防止対策ということで、対象・意図ともに妥当である。							
	成果の向上余	地	☑ 向上余地がある 【理由】 🧻 📗 向上余地がない 【理由】 🖜								
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	るが、引き続き啓発活動や	環境・美化への関心やモラル・マナーの低下が要因と思われる不法投棄が相変わらず後を絶たない状況であるが、引き続き啓発活動や諸対策を推進していきたい。また、環境美化推進員とも連携しながらパトロールの実 後や啓発・指導等を強化し事業効果を図りたい。							
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 5	<u>D</u>	▼ 影響有 【その内	容] 🤝					
対性評	事務事業を廃止・休警の有無とその内容		当事業を止めた場合、類(いう観点からも支障があり、		表投棄等が増大していく	さ考えられ	、地域の美化や環境衛生の保全と				
個	類似事業との	統廃合・連携の	他に手段がある(具体的な手段,	事務事業)						
	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない		以 □ 統廃合できる う	□ 連携できる	る ➡	きない 🔽	■連携できない				
	との統廃合ができるの連携を図ることに	か?類似事業と	類似事業もない。								
	が期待できるか?	全地	✓ 他に手段がない [3 □ 削減余地がある		▼ 削減余地がない	/IIII ch 1					
	事業員の削減 成果を下げずに事業			•			•				
效率	いか?(仕様や工法 の協力など) 【	の適正化、住民	法投棄等を防止し、事業が	効果を高める必	要があるため、事業費肖	減は成果	けや諸対策を推進することにより、不 に一上に支障が出ると懸念される。				
性評	人件費(延べ) <mark>減余地</mark>	業務時間)の削	□ 削減余地がある	【理由】 🕏	☑ 削減余地がない	【理由】	₽				
価	やり方を工夫して延 減できないか?成身 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	や委託でできな	各地区とも苦情や不法投 区においては、環境保全	棄等があるため 協会の監視・パ	、職員の対応は必要でる トロール員の活用が引き	あるが、特 ・続き必要	に不法投棄等の多い国分・隼人地 と考えられる。				
公平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある	【理由】 🕏	☑ 公平・公正である	3 【理由】	€				
性評	事業の内容が一部でではないで不公平ではなります。 も対象を表現している。 も対象を表現している。 も対象を表現している。 も対象を表現している。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	いか?受益者	私有地等の不法投棄への 行うこととなっており、公平			講じるとと	もに、投棄ごみの回収・処分も自ら				
	評価結果の総括。) 1次評価者として		(次年度計画と予算へ((担当記 ほり返り、反省点)	果長記入 [。]					
	目的妥当性 有効性 効率性 公平性	適切適切適切適切	見直し余地あり戻 見直し余地あり戻 見直し余地あり戻 見直し余地あり	年者・単身者・ 等を含め苦情	自治会未加入者等が多 等も多いので、特に重点	的に諸対	激しい国分地区において、不法投策を講じていく必要がある。また、 め、当事業効果を高めていく必要				
(3)		向性(改革改善 ▽ 事業の	案)・・・複数選択可 つやり方改善(有効性改善) つやり方改善(効率性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし	(B)改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要)				
<	事業統廃合・連門 事業統廃会・連門 事業統廃会・連門 事業 (本本・連門 本本・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		つやりがは音(効率性は音)のやり方改善(公平性改善)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	通りて行に以手以音で り	(2.V 1)	17.1 17.1				
不ナ	法投棄は、環境・美化 ーアップ等の啓発活	動や環境パトロー	ル・マナーの低下が主な要 ル等を行うとともに自治会 ^も	や職場ぐるみの	清掃・ボランティア活動し	こよる	成維 人				
	域美化を推進し、不注 や地域パトロールを引		環境整備も推進していく。ま 善を図る。	た、環境美化 技	佳進員とも連携しながら₹	啓発活	果 <u>持</u> 低下				
) 改革、改善を実現 になし	見する上で解決す	すべき課題(壁)とその解	解決策		•					